

トリニティムーン利用規約付き使用フリー脚本 008
『セックスって何かしら?』

20160323
高辻カンナ

男性 0 人
女性 2 人
その他 0 人

お嬢様……ちよつと高飛車。

如月……メイド。わりとクール。

1. お嬢様 『使用フリー脚本 008』

2. 如月 『セックスって何かしら?』

ちよつと間。

3. お嬢様 「如月ー。如月はどこかしらー?」

4. 如月 「はーい。お呼びでしょうか、お嬢様」

5. お嬢様 「あなたに尋ねたいことがあるの。正直に答えなさい」

6. 如月 「はあ。お嬢様の命令なら、そのようにいたしますが。しかしメイドの私には仕事もございません。手短にお願いできますか?」

7. お嬢様 「いいのよ、仕事なんてどうでも。こちらの方がよっぽど重要だわ」

8. 如月 「そうですか。では、その重要なこととは何でしょう?」

9. お嬢様「如月。あなた、ふしだらな女だそうね」
10. 如月「……はご？」
11. お嬢様「他のメイドたちが噂しているわよ。あなた、男の人と同棲しているでしょう。そして毎晩毎晩、何回もセックスをしているのかわ」
12. 如月「まあ、否定はいたしません。言い返すのも面倒ですし」
13. お嬢様「ごほん。それでなんだけど、如月に教えて欲しいことがあるの」
14. 如月「はい、私にわかることであれば」
15. お嬢様「セックスって……何かしら？」
16. 如月「……はあっ？」
17. お嬢様「あなた、大好きなのでしょう。そのセックスとやらが。それがどんなことなのか、あたしに教えなさい」
18. 如月「お嬢様は……もう立派な大人ですよね？」
19. お嬢様「当たり前じゃないの。お酒だったしなめる年齢だわ」
20. 如月「なのに知らないんですか？ したことがない、の間違いではなくて？」
21. お嬢様「如月はバカね。セックスが何かも知らないのに、することなんてできるわけがないでしょう」
22. 如月「普通は小学校の、保健の授業で習いませんか？」
23. お嬢様「あたしは幼い頃、病弱だったから、あまり学校には通っていないの」
24. 如月「年頃になったら、友達とそんな話をするのが普通でしょう」
25. お嬢様「あたしはとても高貴な生まれなの。下々の者と友達になんてならなかったわ」

26. 如月「自分でググったりしたらいいんじゃないですか？　それが一番早くて正確だと思いますよ」
27. お嬢様「それは、いやなの！　簡単にパソコンで調べるなんて、あたしのプライドが許さないの！　本当は人に教えを乞うのもいやなのよ？　でも如月はただのメイドだし、言うなれば、あたしにとっては人間以下の存在じゃない。だから聞いてあげてやってもいいかしら、と思っつて」
28. 如月「お嬢様……殴りますよ？」
29. お嬢様「あたしが、わざわざ質問してさしあげてるのよ？　さあ、早く答えなさい！」
30. 如月「わかりました。どこから説明したらいいのでしょうか？　生き物には生まれつき、オスとメスの二種類がいますよね？」
31. お嬢様「カタツムリやミミズは雌雄同体と言って、オスでもありメスでもあるのよ。だから二種類ではないわね。如月はそんなことも知らないの？　教養がないのね」
32. 如月「お嬢様……本当に殴りますよ？」
33. お嬢様「あなたに知識を分け与えてあげたというのに、どうして殴られなければいけないのかしら。それよりもあたしに、セックスとは何かを教えなさい」
34. 如月「まあ、セックスというのは生殖活動ですね」
35. お嬢様「生殖活動？」
36. 如月「男と女が、子供を作る行為ですよ」
37. お嬢様「それは結婚でしょう。夫婦になると自然に子供ができるものだと、お母様からも教わったわ」
38. 如月「結婚しても、セックスをしないと子供は産まれないのです。子供を作るためにする、神聖な行為がセックスなのです」
39. お嬢様「ふふん。そんなことで、あたしはだまされないわよ」

40. 如月「はあ」
41. お嬢様「じゃあ、如月。あなたは、子供を作るためにセックスしているというの？」
42. 如月「私は、子供が欲しくて、しているわけではありませんねえ」
43. お嬢様「ほおら、そうでしょう！ セックスは生殖活動と関係がないのだから。第一、セックスが神聖な行為ですって？ 如月みたいな汚れた人間が、そんなことをするわけないでしょう！」
44. 如月「お嬢様……やっぱり殴りますよ？」
45. お嬢様「汚れた人間だけがする、下品な行為なのかしら。あたしみたいな高貴な生まれの、上品な人間には関係がないとか？」
46. 如月「下品な人間だとか、上品な人間だとかは関係ありません。セックスは、みんながすることなのです。……あ。でも上品なセックスと下品なセックスはあるかもしれませぬね」
47. お嬢様「なんですって？」
48. 如月「ちなみに、私は下品なセックスの方が好きです」
49. お嬢様「ああ！ ますます謎が深まるばかりだわ！ わからない！ あたしには、セックスが何か、まったくわからない！ 如月みたいな、間が抜けた人間でさえ知っているというのに！」
50. 如月「お嬢様……そろそろ本当に殴りますよ？」
51. お嬢様「でも、生殖活動と関係がないのは確かだわ。男同士や女同士でも、セックスはするのでしよう。男同士や女同士では、結婚しても子供はできないもの」
52. 如月「だんだん面倒くさくなってきました。そうですね。では、こうしましょう。それは愛の行為なのです。二人で、愛を確かめ合うのがセックスなのです」
53. お嬢様「それはキスのことだと思っわ」

54. 如月「キスよりも激しい行為なのです」
55. お嬢様「激しいキスのことは、フレンチキスと言うのよ。そもそも、愛の行為なんて嘘だわ。だって世の中には、お金のためにセックスする人もいるのでしょう」
56. 如月「いますね。そういうお店もありますし」
57. お嬢様「如月だって、お金が欲しくてセックスしてるんでしょう？　だって愛の行為なんて崇高なこと、あなたみたいな墮落した人間にできるわけがないもの」
58. 如月「お嬢様……今のはさすがに、殴る寸前でしたよ？」
59. お嬢様「セックスするためにお金を払ったり、もらったりもするのね。ますます謎だわ」
60. 如月「はいはい。セックスはとても気持ちいいのです。お金を払ってでもしたくなるくらい、それは気持ちいいのです」
61. お嬢様「それも嘘よ。初めてはとても痛いと聞いているわ」
62. 如月「お嬢様は、本当に余計な知識だけはもっていますね」
63. お嬢様「もうじれったいわ！　如月、目の前でセックスして見せなさい」
64. 如月「他人に見せる行為ではないですよ」
65. お嬢様「嘘よ。世の中には、セックスを撮影したDVDもあるそうじゃないの。他人に見せるためにセックスする人たちもいるのだから」
66. 如月「じゃあ、そういうDVDを借りてくればいいじゃないですか」
67. お嬢様「そんなくだらないことに、お金は使えないわ。もういい！　如月、あなた、あたしとセックスしなさい」
68. 如月「はあ？」
69. お嬢様「さあ、早く！　これは命令よ！　従わないと、クビにするわー！」

70. 如月「仕事を失うのは困りますけどねえ」

71. お嬢様「なぜ躊躇するの？ 如月はセックスが好きで好きでたまらないのでしょう。誰とでもする、ふしだらな女のはずだわ」

72. 如月「お嬢様……泣いて謝るまで殴りますよ？」

73. お嬢様「さあ、はやく！ なんだったら、ボーナスを払ってもいいのよ」

74. 如月「……わかりました。お嬢様の寝室に参りましょう。そのかわり、あとから後悔しても知りませんし、文句を言われても困りますからね？」

寝室のドアの閉まる音。
ちよつと間。

75. お嬢様「あ、あ。あーっ！」

間。

76. 如月「どうでしたか？ これがセックスです」

77. お嬢様「これがセックス……。生殖活動で、神聖な行為で、上品で、下品で、愛を確かめ合う行為で、キスより激しく、お金を払ったり、お金をもらったり、とても気持ち良くて、最初は痛くて、他人には見せる行為ではなかったり、他人に見せるためにする人がいたりする行為……」

78. 如月「もういいですよね？ 私、仕事に戻りますよ？」

79. お嬢様「でも、わからない……あたしには、やはりわからない……」

80. 如月「まだわからないことがあるんですか？」

81. お嬢様「如月！ もう1回、いや2回しましょう。いいえ、それでもきつと足りないわ。きちんとセックスが何かわかるまで、何度だってするわよ！ もちろん、あなたもするわよね？ だって如月はセックスが大好きで、ふしだらで、淫乱で、ビッチで、性欲の塊で、好き者で、いやらしくて、だらしなくて——」

マンガっぽい殴る音。

82. お嬢様「あーん！ 如月が殴ったあ！」

END